

サトコジファイル Satokoji File

福生市議会議員
佐藤こうじ
議員活動レポート

福生「生きがい都市」宣言！



2025ふくふくまつりに参加しました

2025ふくふくまつりが福生市福祉会館で開催され、来賓として開会式に出席いたしました。体験コーナー（車いす・アイマスク・高齢者疑似体験・点字・手話等）や模擬店、市民によるアトラクション（演し物）、屋内販売（パン・菓子類・日用雑貨・手芸品等）、活動体験・展示など内容も盛りだくさんでした。私はアイマスク・点字などを体験しました。また出店団体の方々と意見交換させていただきました。この「ふくふくまつり」は、毎年開催されていた「福祉まつり」と「ガーデンパーティ」を1つにし開催されるもので、市民の皆様方が、福祉に関する施設や各団体の活動に触れ、共に交流を深めることで、「福祉」が身近なものとして感じることが出来る、まさにそのきっかけを与えてくれる貴重な機会です。今後も市民の皆様方の声を大切にしながら、地域福祉のさらなる充実に向け、取り組んで参ります。

視察

愛知県西尾市の「多文化共生と国際交流の取り組み」を視察

10月6日、建設環境委員会で愛知県西尾市の「多文化共生と国際交流の取組みについて」視察しました。西尾市の外国人比率は、市の人口の8.2%で、企業の労働者が多く、20代・30代が中心となっています。多文化共生を難しくするのは、言語の壁、生活習慣の違い、宗教、差別意識など様々な要因が挙げられます。課題解決を図るには、生活に必要な情報発信や支援の体制づくり、さらには地域住民の外国人への理解促進の施策を行うことが重要だと考えます。

西尾市は2022年に多文化共生推進プランを策定。①誰もが活躍できる②子どもの育ち・学びを応援する③災害や病気から命を守る④取り残されず情報を得ることができる⑤誰もが多様性を認めあう、をコンセプトに先進的な取組みを推進しています。外国籍住民会議の開催、外国人への防災啓発の実施、外国人相談窓口の設置、外国人向け生活情報誌の発行、市職員向けの多文化共生研修などの取組みについて説明を聞きました。外国人を雇用している企業と包括連携協定が結ばれていることも大きな特徴です。福生市では行われていない取組みなどを参考に今後の活動に活かします。



佐藤 弘治 委員

基地

全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会に出席

石川県小松市で開催された全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会に相談役として出席いたしました。会長である小松市議会議長の挨拶の後、事務報告があり、その後、協議事項の審議に入りました。①令和6年度本協議会会計決算 ②基地対策関係施策の充実強化に関する要望（案）③令和8年度本協議会負担金算出基準（案）④第113回理事会の運営 ⑤基地関係国会議員との情報連絡会の運営、などについて協議されいずれも可決されました。終了後、サイエンスヒルズこまつを視察しました。施設内の「3Dスタジオ」はプラネタリウムで、施設職員に、小松の夜空に浮かぶ星々の解説をしていただきました。花火や雷をテーマにした映像イベントも開催されるとのことでした。また「ワンダーランド」は子どもも大人も楽しく宇宙や未来の生活やエネルギーについて学ぶことができるフロアで、親子連れが多く来場していました。



交通

第36回東京都道路整備事業推進大会に出席

第36回東京都道路整備事業推進大会に東京都市議会議長会の会長として出席しました。この大会は、東京都における交通混雑の緩和や、安全で快適な都市づくりを目的としています。具体的には、道路、橋梁、鉄道の整備や公共交通の充実がテーマとなっており、意見発表や決議を通じて道路整備事業の促進を図ります。現在、東京都の都市計画道路整備率は65.4%であり、都民生活や都市活動を支える基盤の整備は依然不十分です。慢性的な交通渋滞や、鉄道による交通遮断、既存インフラの老朽化など、多くの課題が存在しています。さらに、電子商取引の増加により物流需要が増している一方で、物流業界では人手不足が深刻化しています。これに対処するため、道路の重要性が再認識され、物流の円滑な運営を確保するための施策が求められています。東京外郭環状道路を含む幹線道路ネットワークの整備を進め、重要物流道路の機能の強化が必要です。また、大規模災害時の輸送路確保や、慢性的な渋滞解消も重要な課題です。利便性向上のために踏切の改修や無電柱化などの整備も考慮されており、国や都からの支援を受けつつ、これらの施策が推進されることが期待されます。



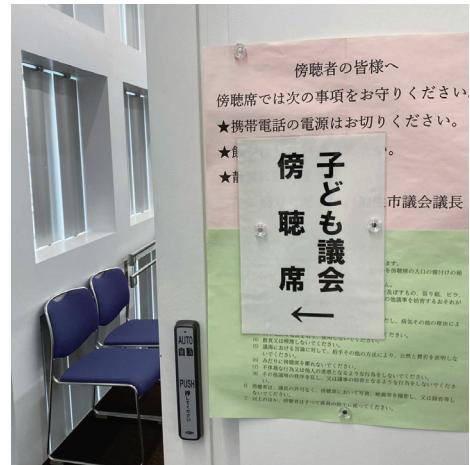
福生「生きがい都市」宣言!

教育

子どもの権利・主権者教育

第25回 福生市子ども議会を傍聴しました。小学生の子ども議員による一般質問は、鋭い指摘も多く、演壇で自分の意見を堂々と発表する姿はとても立派でした。令和4年の第2回定例会で子ども議会について質問した際の答弁で、中学生の参加を企画しているとのことでしたが、小学生議員の一般質問に対する講評を中学生が行い、合わせて、あいさつ運動や生徒会活動、ボランティア活動など各学校の取組みについて紹介がありました。この子ども議会という機会と場は、主権者教育、シチズンシップ教育につながるものであり、子どもたちが将来の自主・自立的な市民としての力と可能性を育む機会と場でもあります。学校の先生も大変な負担がある中で、この事業が行われていると聞いていますが、実りのあるすばらしい子ども議会が引き続き開催されるよう注視していきたいと思います。

note(ブログ)にて子ども議員の一般質問の詳しい内容を掲載しています▶



文化

福生市民総合スポーツ大会

10月13日スポーツの日、福生市民総合スポーツ大会の総合開会式が行われました。スポーツの振興と選手の皆様方の友好と交流を深めることを目的とした本大会は、多くの選手の参加を得て盛大に開催されました。26の競技団体の皆さんとの入場行進は圧巻でした。

人生100年時代といわれており、生きがいをもって生きることが大切だと考えます。持続可能なまちづくりを進めていく中で、だれもが、いつでも、どこでも、生きがいをもって、スポーツを楽しむことができる環境づくりが必要です。公共施設等総合管理計画や個別施設計画など、今後の体育施設のあり方や他市との連携など広域的な課題も多いです。今後もスポーツに親しむ全ての市民ために力を尽くしてまいります。



防災

福生社交飲食業組合 防災訓練

10月14日、相談役を務める福生社交飲食業組合の防災訓練が行われました。町会の会館をお借りして、福生消防署の職員さんによるAED講習と初期消火訓練を行いました。組合員である飲食店経営者の皆さんを中心となって毎年度、訓練が行われています。総合防災訓練ももちろん大切ですが、町会をはじめ、地域の様々な団体が独自に行う防災訓練は、地域の防災力向上には欠かせません。皆さんありがとうございました。



福祉

東京都職員OB及び東京都関係団体職員OBを対象とした 民生・児童委員及び保護司候補者登録紹介制度の創設に関する要望書

11月21日、会長を務める東京都市議会議長会に、「東京都職員OB及び東京都関係団体職員OBを対象とした民生・児童委員及び保護司候補者登録紹介制度の創設に関する要望書」を議案として提出し可決されました。民生・児童委員制度は、制度発足以来100年以上にわたる制度で、近年では、生活困窮者自立支援制度等に基づく市民への対応や児童虐待等から子どもたちを守る取り組みなど、その重要性は増しています。一方、保護司制度は、明治時代より日本独特の制度として発展してきたもので、刑務所を出所した人や、保護観察中の人々の社会復帰を支援する制度で、近年では国際的にも高く評価されています。しかしながら、両制度は、担い手不足が深刻化しています。このよう

な中で、現在、複数の自治体において、市職員OB及び市議会議員OBが民生・児童委員や保護司に就任しており、欠員対策に一定程度寄与している状況が見られます。東京都は、広域的な事務、市区町村や国、企業との連携や調整業務を担い、その職員及び東京都関係団体職員は、多様で豊かな経験を有しています。特に、児童相談所や保健所、東京都社会福祉協議会などの福祉・保健分野に勤務した職員OBは、民生・児童委員の活動内容と、また、警視庁OBなどは保護司の活動内容との親和性が高いといえます。そのような理由から都に対して、東京都職員OB及び東京都関係団体職員OBを対象とした民生・児童委員及び保護司候補者登録紹介制度の創設を要望する事を提案し、全会一致で可決されました。



福生市議会議長に就任させていただきました

去る5月15日の第2回福生市議会臨時会におきまして、議長に就任させていただきました。市議会は、二元代表制のもと市民の負託を受けた議員が市民生活に直結する議案や政策等の審議を行うといった、民主主義の根幹に係る機能を有しています。人口減少、少子高齢社会などに端を発する多くの問題・課題が発生しています。また、不安定な世界情勢に起因する物価高騰などにも、迅速な対応が政治に求められています。

そして、これまで以上に、市民に「開かれた議会」であることが求められています。現在、議会改革を進めるため、議会基本条例の制定に向け議論が活発に行われています。議員一人一人が心新たに、議会活動に邁進することができるよう、また、全議員が一丸となって市政の発展に一層力を尽くしていくための改革が進められています。新たな議会の取り組みに私も力を尽くして参ります。

議長就任と同時に、東京都市議会議長会の会長、並びに全国市議会議長会基地協議会相談役も拝命いたしました。東京都26市の議長の皆さんと連携を密に、共に様々な課題について議論を深め、東京都や国に対して要望活動をしていきます。そして増大する基地関係の財政需要に対処するため、基地をもつ自治体との連携を深め、基地関係予算の確保に向け一致団結して参ります。



佐藤こうじプロフィール

メディア
出演情報

**FM たちかわ
『I.S.M.(イズム)生特番』**

第2・4週 日曜日 16:00~18:00

番組内出演コーナー 16:00~16:25

福生市議会議員 佐藤弘治の
「市議会議員は毎日何をしているのか?」
地方議員の活動や考え方を皆さんにお伝えします!

84.4 fm
FM TACHIKAWA

ご視聴方法はこちら ➡

佐藤こうじ
オフィシャルサイト



<https://www.sato-koji.com/>

佐藤こうじ
Facebookページ



市議会議員は毎日何をしているのか

誕生～学生時代

1968年 東京都日野市生まれ。

日野市立第二小学校、日野市立第一中学校、
東京都立南多摩高校、中央大学法学部卒

小学生時代：カブト虫・クワガタや魚獲りに明け暮れる
中学生時代…卓球部所属（市や地区大会で優勝！）

高校生時代…卓球部と体操部に所属、ロックバンド結成
大学生時代…法学、政治学を学び、政治学のゼミに所属

職歴～現在

- 2015年 保険会社、織維業界紙新聞記者、予備校講師、家業の建築業（型枠工事／二級建築士）を経て、福生市議会議員に初当選。議会運営委員会 委員、総務文教委員会 委員、議会改革に関する特別委員会 副委員長、横田基地対策特別委員会 副委員長、西多摩衛生組合議会 議員
- 2019年 福生市議会議員に再選。総務文教委員会 委員長、議会運営委員会 委員、横田基地対策特別委員会 委員、議会改革に関する協議会 座長代行、福生病院組合議会 副議長、市議会正和会 政調会長
- 2021年 議会運営委員会 委員長、総務文教委員会 委員、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 副委員長、瑞穂斎場組合議会 副議長、市議会正和会 総務会長
- 2023年 福生市議会議員に3選。市民厚生委員会 委員、議会運営委員会 委員、横田基地対策特別委員会 委員長、西多摩衛生組合議会 議長、市議会正和会 会長
- 2025年 福生市議会 議長に就任。東京都市議会議長会 会長、関東市議会議長会 支部長、全国市議会議長会 理事、全国市議会議長会基地協議会 相談役など

心が通い 誰もが認められる 新たな時代のまちづくり

福生 生きがい都市宣言!

佐藤こうじ後援会 事務局

TEL/FAX 042-849-2196

E-mail: koji.sato.office@gmail.com

〒197-0022 福生市本町79

生年月日 1968年10月28日（さそり座） 血液型 O型

趣味特技 カラオケ、卓球、読書（社会科学系等の本をよく読みます。漫画も好きです！）

政治観 地方自治は民主主義の学校である（J.ブライス）

家族 福生生まれの妻（介護福祉士）、社会人の長男・次男、大学生の長女

座右の銘 処人藹然（しょじんあいぜん）「人と接するときには和やかな態度で接すること」

地域活動 保護司、（社）不動福祉会理事、福生社交飲食業組合相談役顧問、福生市柔道整復師会顧問

福生市防衛協会事務局長、多摩西部議員佼友会会員、福生不動尊世話人、福生市本町町会顧問

市生会 理事、本町神輿保存会 世話人

[発行] 佐藤こうじ後援会 福生市本町79

討論資料